

東日本大震災

液状化対策済の下水道施設の

震災後のマンホール部及び管渠部の目視調査結果

このたびの東日本大震災により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

震災対策に携わる当協会にとってもこの度の震災は想像を絶する大変なものとなりました。

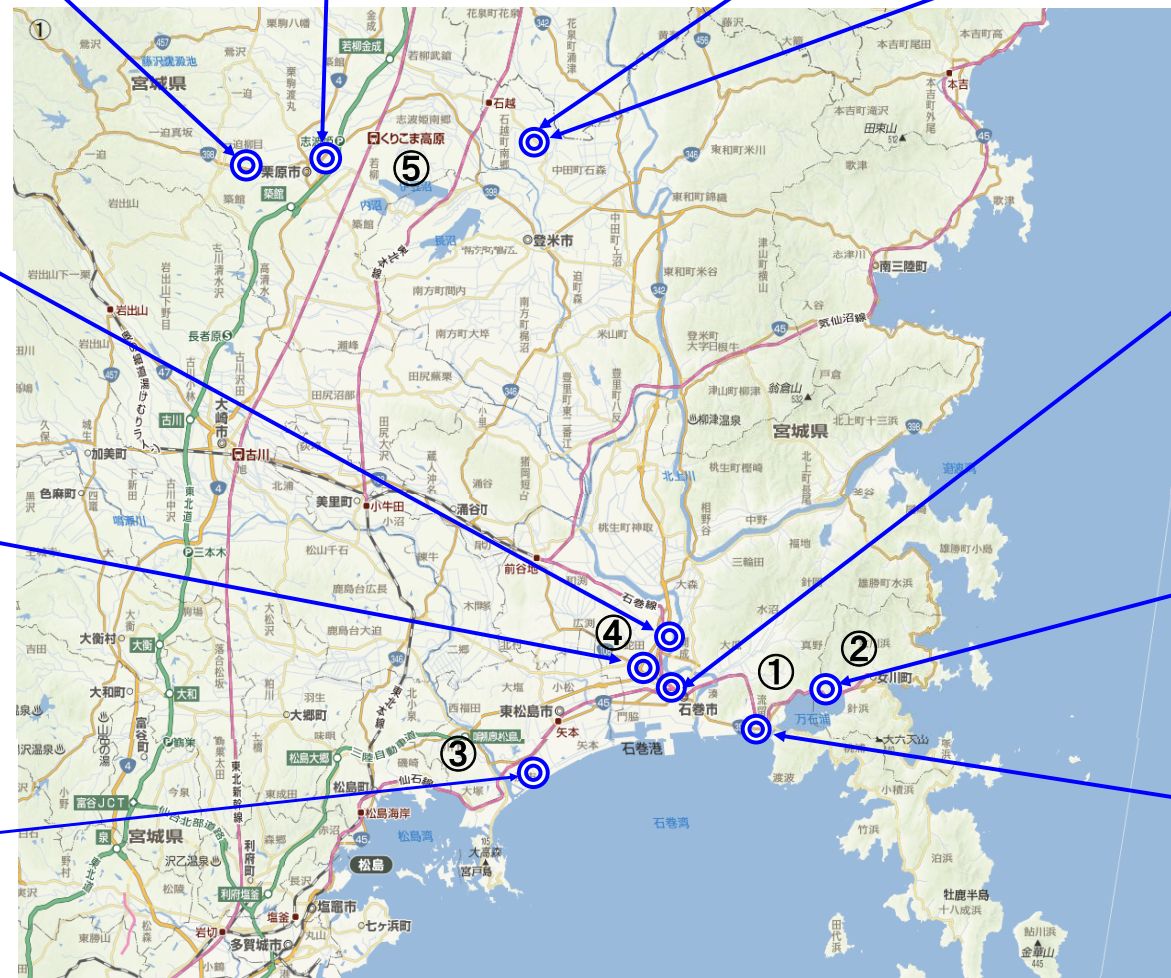
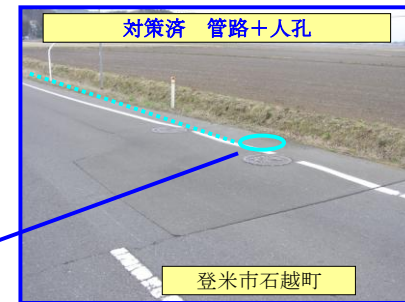
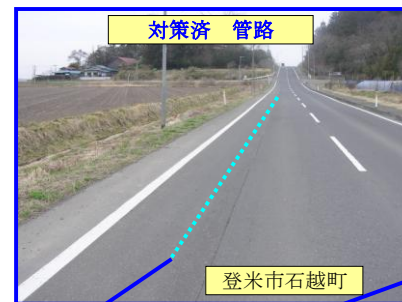
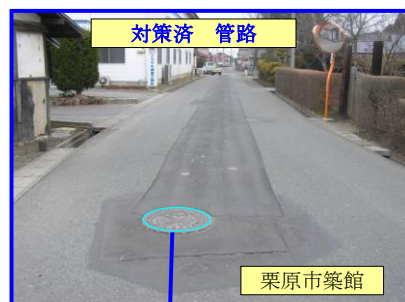
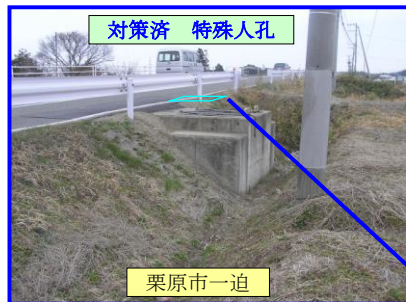
宮城県下に於いては、今回震災を受けた地域内で、数年来、流域下水道施設に対しての地震対策が実施されており、アースドレーン工法も御採用いただき、マンホールの浮上対策、管路部の液状化抑制対策を施工させていただきました。

この震災を受けて、当協会として、4月7日～9日の三日間、アースドレーン工法で施工した箇所の現地調査を行ってまいりました。目視確認の結果に於いてはマンホールの浮き上がりも見られず、管路の上部路面に変化も無かった事をここに御報告致します。

謹白

アースドレーン工法協会

宮城県内アースドレーン工法施工震災後調査



①宮城県石巻市鹿妻

施工前

震災後
平成23年4月8日



周辺震災 状況



液状化対策
マンホール

アースドレーン工法
施工
平成21年11月



②宮城県女川町

女川町被災状況



施工前



震災後
平成23年4月8日



液状化対策
マンホール

アースドレーン工法
施工
平成21年11月



③宮城県東松島市

震災後
平成23年4月8日

対策済 人孔

アースドレーン工法 施工
平成21年11月

液状化対策
マンホール

東松島市矢本 被災状況



アースドレーン工法 施工
平成21年11月

④宮城県石巻市内

震災後

液状化対策
マンホール

石巻市内被災状況

震災後



